



## ViewMail for Notes の設定の変更

---

- 「Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Notes でのパスワードの更新」 (P.27)
- 「セキュア メッセージングと電話の録音および再生の設定の変更」 (P.28)

## Cisco PCA パスワードと一致させるための ViewMail for Notes でのパスワードの更新

ViewMail for Notes では Cisco Unity Connection ユーザ名と Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワードを使用して Connection アカウントにアクセスし、ボイス メッセージを取得します。Messaging Assistant Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更したときは、ViewMail for Notes でパスワードを更新する必要があります。これにより、ViewMail で継続して Connection アカウントにアクセスできます。

ViewMail for Notes でボイス メッセージの送受信に問題がある場合は、次のヒントを参考にしてください。

- Notes でパスワードの入力を要求されても、そのパスワードが受け入れられない場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Notes でパスワードを更新してください。
- 電話を使用して ViewMail for Notes でメッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail でパスワードを更新してください。
- セキュア メッセージを再生または録音しようとしてエラーが表示される場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックされている可能性があります。最初に Cisco PCA パスワードを Messaging Assistant で変更してから、ViewMail for Notes でパスワードを更新してください。

**Cisco PCA パスワードと一致するように ViewMail for Notes でパスワードを更新するには**

---

- ステップ 1** ViewMail for Notes 受信ボックスを閉じます。
- ステップ 2** Notes で、[Local Names and Address Book] を開きます。

**ステップ 3** [File] メニューで、次のように Notes のバージョンに応じて適切なオプションを選択します。

<b>Notes 8.x</b>	[Open] > [Lotus Notes Application]
<b>Notes 7.03 および 7.02</b>	[Database] > [Open]

**ステップ 4** [Look In] フィールドで、次のように Notes のバージョンに応じて適切な値をそのまま使用します。

<b>Notes 8.x</b>	[On My Computer]
<b>Notes 7.03 および 7.02</b>	[Local]

**ステップ 5** [File Name] フィールドには、「names.nsf」と入力します。

**ステップ 6** [Advanced] カテゴリを選択し、[Accounts] ビューを選択します。

**ステップ 7** ViewMail for Notes アカウントを選択し、[Edit Account] を選択します。

**ステップ 8** [Password] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。

**ステップ 9** [Save] を選択し、[Close] をクリックします。

**ステップ 10** ViewMail for Notes 受信ボックスを開きます。

## セキュア メッセージングと電話の録音および再生の設定の変更

この手順で入力する情報は、電話でメッセージを録音または再生したり、セキュア メッセージを聞いたり送信したりするときに ViewMail for Notes で使用します。

次の手順を実行するときに、一部のフィールドに値が入力されていない場合は、必要な情報について Connection 管理者に問い合わせる必要があります。

### セキュア メッセージングと電話の録音および再生の設定を変更するには

**ステップ 1** ViewMail for Notes 受信ボックスで、ボイス メッセージを開きます。

**ステップ 2** Media Master で、下向き矢印 (1 つ目のボタン) を選択し、[オプション (Options)] を選択します。

**ステップ 3** [Cisco Unity Connection サーバ オプション (Cisco Unity Connection Server Options)] ダイアログで、該当の設定を変更します。

<b>[Cisco Unity Connection サーバ名 (Cisco Unity ConnectionServer Name)]</b>	Cisco Unity Connection サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。 <b>ヒント</b> サーバ名、ユーザ名、パスワード、および内線番号の各フィールドの値は、ViewMail for Notes アカウントの作成時に情報が入力されていれば自動的に表示されます。
<b>[ユーザ名 (User Name)]</b>	Connection ユーザの名前を入力します。

[パスワード (Password) ]	Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワードを入力します。
[パスワードの保存 (Remember Password) ]	Notes が起動するたびにパスワードを再入力しなくて済むように、ViewMail for Notes に Cisco PCA パスワードを保存するためのチェック ボックスをオンにします。
[プロキシ サーバアドレス (Proxy Server Address) ]	ユーザ ワークステーションと Connection サーバ間の HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールがある場合は、HTTPS プロキシ サーバの IP アドレスを入力します。
[プロキシ サーバ ポート (Proxy Server Port) ]	ユーザ ワークステーションと Connection サーバ間に HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールがある場合は、HTTPS プロキシ サーバへの接続時に使用するサーバ ポートを入力します。
[HTTPS 証明書の検証 (Validate HTTPS Certificate) ]	Connection 管理者から指定があった場合は、このチェック ボックスをオンにします。それ以外の場合、このチェック ボックスはオフにします。
[内線番号 (Extension) ]	内線番号を入力します。

**ステップ 4** [OK] をクリックします。

